

さんぽ

発行所
〒175-0083
東京都板橋区徳丸
3丁目41-16
板橋区立徳丸福祉園
園長 山崎智通
編集 機関紙担当
電話
(03)3935-7213

新卒職員大募集
くわしくはWEBで♪
公式サイト
<http://www.tokumaru-fukushien.com>
徳丸福祉園

新年を迎えて



明けまして
おめでとう
ごきげんよう

利用者・ご家族の皆様におかれましては、楽しいお正月を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

さて、昨年は、地震、豪雨そして夏の猛暑など多くの自然災害がありました。また、一方で、明るい話題もありました。それは、昨年の新語・流行語のトップテンに選ばれた「50-50」の話題です。そうすると大谷翔平選手の話題です。世界の歴史に残る業績と日本人としての誇りとなる業績です。この「50-50」は、皆様もご存じのとおり、大リーグ・ドジャースの大谷選手が達成した、1シーズンで、ホームラン50本、50盗塁の大リーグ史上初の世界的記録です。

大谷選手は、「1年間振り返って一番記憶に残った出来事は？」の質問に「いろいろ記録とかありますけれど、サポートしてくれた人たちに、まず、感謝したいと思います」という感謝の気持ちを話されています。また、「一番記憶に残っているシーンは？」の質問に「これから、ポストシーズンがあるので、あまり、今シーズンをすごく振り返るということは、ないので、それより、いい思い出がこの先来るように努力したい」と未来に向けた努力を述べています。大谷選手の偉大さと前向きな姿勢・

努力を改めて感じるところです。レジェンドとして、日本社会を明るくしてくれた日本人の1人であることは、間違いないことです。

こうしたスポーツ選手の言葉は、私たちに感動を与え、目を覚まさせてくれるようなことがあります。それは、ひたむきな一所懸命さと率直な気持ちがあるからだと思います。その言葉は、多くの人々に感動と希望を与えてくれます。

私たち職員もこの一所懸命さが必要であると思います。それも突き抜けるような一生懸命さが求められています。松下幸之助は、「突き抜ける一所懸命は、自ずと人を集め、人を動かす」とも言っています。

今までの徳丸福祉園の支援は、「マンネリ化していないか。勝手な思い込みで支援していないか。」を振り返り、突き抜けるような一所懸命さを職員一人ひとりが支援に発揮していかなければならないと考えます。また、良い思い出が今年もできるような職員一同、一生懸命に取り組んで参りたいと思います。

年が明けて、さらに寒さも厳しくなりませんが、お体に留意され、皆様が健康で活躍されることをお祈りし、新年のあいさつとさせていただきます。

板橋区立徳丸福祉園

園長 山崎智通

防災宿泊訓練

令和4年度から開始した災害時の避難を想定した宿泊訓練も今回で3回目となりました。

今年度は、5月から6月の期間で、ワークハウス係は1回、第一ハウス係は3回、第二ハウス係は2回、合計で6回の宿泊訓練を実施しました。

ワークハウス係

ワークハウスの宿泊は5月に2班に分かれて実施し、計9名の利用者さんが参加しました。今年度は防災宿泊の観点から、希望者は段ボールハウスを制作しました。各々世界にひとつのお気に入りの寝室で就寝しました。制作過程を楽しみながら、実際の災害時の雰囲気を感じる



ことができました。

夕ご飯はみんなでコイチのカレーライス。デザートはミニエクレーアとパバロアシュークリーム♪「おなかいっぱい！」と

翌朝にデザートを食べる方もいらっしやいました。夕食後はお楽しみの花火大会ちよつと早い夏の気分を味わいました。

いつもは作業をしている福祉園での仲間とお泊りを皆さん満喫していました。

第二ハウス係

第一ハウスでは、夕食後にレクリエーションとして、今年度初めてサンクンガーデンで手持ち花火を行いました。最初は戸惑っていた利用者の方も、職員と一緒にやることで、しっかりと手に持って様々な種類の花火をじっと見つめたり、笑顔が見られたりと楽しむ様子が見られました。



また、普段過ごす1階の場所が宿泊訓練中は違った雰囲気を感じ取ったのか、やや緊張気味の利用者の方もいました。しかし、時間が経つにつれて慣れ始め表情が和らいでいました。今年度が、園内宿泊訓練の2回目となる利用者の方もおり、「前

回経験しているから大丈夫だよ。」との言葉も聞かれ、利用者の方それぞれが普段と違った環境のなかでも適応できる様子が見られました。

第二ハウス係

今年度も第二ハウスでは、園内での宿泊を6月に2回に分けて実施しました。

今回は、食事以外に『パバロア』と『エクレーア』のデザートを提供し、『食』の楽しみを増やしたことで、利用者さんも嬉しそうに食べていました。



また、夕方に福祉園のサンクンガーデンで『手持ち花火』を体験し、今までは違った園内宿泊訓練となりました。利用者さんも楽しい思い出となったようで、日ごろから『花火』『お泊り』といった言葉やサインが多く出ていました。

令和7年度参加対象の方には、改めてアンケートを取って、実施する予定となっています。

納涼祭

板橋区立徳丸福祉園では、令和6年7月27日に納涼祭を開催しました。板橋区長をはじめ地域の方々、徳丸福祉園ご利用者、ご家族、元職員等沢山の方々にご来場頂き、短い時間ではありましたが、皆さんと楽しい時間を過ごしました。



今年度は、参加型のイベントが多くあり、様々な世代の演者さんと一緒に、ダンス、歌、楽器や手拍子で暑さを忘れてしまいうくらいに盛り上がりました。更に初参加のボーカルアンサンブルには、歌声にうっとり聞き入ってしまった、利用者さんからは、「もっと長くやってほしかった。」という声があちらこちらで聞こえてきました。イベントに参加頂いた約65名のボランティアの皆様ありがとうございました。

また、恒例のゲームコーナーでは、地域の子供達等が高得点を狙って何度も足を運んでくれました。

飲食コーナーでは、ラムチャンカレー(キッチンカー)に「ちよつと辛いけど美味しかった。」との感想をいただいています。パンの屋のぐちやベーカリーのファンは多く、今年度も楽しみに待っていた利用者さんが沢山いらつしゃいました。そして、焼きそばが復活！太麺が大好評でした。「試食ではなく沢山食べたい。」とのご意見も頂きました(笑)。

さて、来年度はどのような納涼祭に・・・職員一同、アイデアを出し合って、更なる楽しい納涼祭になるようにしたいと思います。

徳丸福祉園美術展

10月1日から7日まで、成増アートギャラリーにて、初めての板橋区立徳丸福祉園美術展を開催し、創作活動に取り組んでいる40名の作品を展示しました。

1年間かけてひとつの作品を完成させた方や、自分の作品の中から一番気に入っている作品を選んだ方など、それぞれの制作手法や時間に違いはありますが、個性を活かした作品を展示しました。自分の作品がギャラリーに展示されていることを知り何度か観に行かれた方もおり、利用者の方も楽しめたことがうかがえました。

また、週末には作品を基に作成したポストカードやキーホルダーなどの販売会も実施し、「この絵、気に入っちゃいますよ。」「もしもかして、展示されている作品と同じ作家さんの製

品ですか？」とのお話が来場された方からあり、製品にも興味を持っていただくことができました。今後も作品作りと共に、製品等の開発・作成にも励んでいきたいと思えます。

最後になりますが、美術展に來場された方が、11月に実施した徳丸福祉園施設公開のときまるウィークにも新たな作品鑑賞を求めて來園されました。利用者の方の作品が、徳丸福祉園を知っていただく貴重な機会となったことをとても嬉しく思います。美術展開催中に会場に足を運んでいただいた方々には、改めてお礼を申し上げます。

ちよまるウィーク

「施設・活動紹介とくまるウィーク」を11月12日〜16日までの5日間の日程で開催し、148名の方に來園いただきました。



來園した方々から、「(活動を見学して)安全に取り組めるよう工夫してくれていてありがたい！」「リトミックの発表、見ていてとても楽しかったです！」

など励みになる心温まるメッセージをいただきました。



日頃行っている活動紹介の他に、製作品の販売やくまるアートギャラリーを開催し、創作活動で作成した絵画や書道作品の紹介をしました。また、喫茶コーナーでは、サクラコーヒーといつもインスタグラムで紹介している給食の自慢スイーツとのコラボでお客様をおもてなししました。それぞれに対して、「アートギャラリーとっても感動しました！」「こんなにうれしいデザートも食べている皆が羨ましい！」とのメッセージをいただきました。この活動を継続していくことで、「この施設って、なんかいいね。」と言っていただけのようになれたらと思います。

お越しくださいました皆様、誠にありがとうございました。今回お越しになれなかった皆様も、日頃から見学等を受け付けておりますので、お気軽にお声かけいただけたらと思います。

SaQuLa Coffee

SaQuLaCoffeeでは、新鮮でおいしいコーヒーをお客様に提供したい!との思いから、完全注文制でご注文に合わせて加工しています。利用者さんは発注から計量、加工、検品まで丁寧に作業をしています。販売日は、毎月第2、第4木曜日。注文締切は、販売日の前週の金曜日です。オリジナルの「さくらブレンド」「ピターブレンド」、月替りでお届けしている「おまかせ」の3種類の珈琲を販売しております。新鮮な珈琲豆の豊かな香りと味わいを是非、お試しください。

地域のイベントの他、毎月第2木曜日は板橋区役所、第3木曜日は中央図書館にて販売活動しております。

*SaQuLaとは…Safety (安全、安心)、Quality (品質)、Lasting (続く)の略で、体に安全で、確かな品質の素材を使用した製品を末永く提供できるようお願いを込めた徳丸福祉園ワークハウスが作るコーヒーのブランド名です。



<お問い合わせ先>
徳丸福祉園ワークハウス
☎ 03-3935-7214

福祉園で美味しいランチ

当園では、「何か地域の方々のお役に立ちたい」との思いから、地域の皆様の健康を考えたお食事を提供しています。お知り合いとなった方々の、美味しいお食事を食べながら楽しい会話がいつも聞こえてきます。現在では、会食サロンの登録者の方のご紹介や口コミで登録者数も増えていきます。栄養満点な食事はもちろんのこと、会食サロンを利用される方々との語らいなど、日ごろの息抜きにぜひお越しください。



- 開催日 毎週 火・木 12時15分〜13時00分
 - お食事代 500円(税込)
 - ご利用方法 登録予約制
 - 対象
 - ① 区内在住の概ね60歳以上の方
 - ② 近隣にお住いの障がいのある方
- ※送迎や食事介助のサービスはございません。
- お問い合わせ先
板橋区立徳丸福祉園
会食サロン担当
- 03-3935-7213